

平成28年度町政懇談会（御明神公民館）会議録

- 〈実施日〉 平成28年5月18日（水）午後6時30分～8時30分
〈場 所〉 御明神公民館 集会室
〈町側出席者〉 深谷町長、米澤副町長、吉川教育長
米澤康成企画監、高橋道広企画監、若林武文企画監、吉田留美子企画監
高橋賢秀企画監 古川端企画財政課長 志田生涯学習課長
司会：高橋啓二 総務課長
〈参加者数〉 20人

（町長の資料による事業説明）

- ・雫石町後期基本計画
- ・雫石町 まち・ひと・しごと創生戦略
- ・4地区別地域づくり計画
- ・コミュニティライフしずくいし 事業構想案

〈懇談〉

町民：うちの親戚は県内には就職するところが無いということで県外に就職した、鶯宿には空き家も多い、観光業は給料も安く嫌われやすい職業です。

東京から高齢者を呼ぶとしても、高齢者の年金も安い状態である、絵に描いた餅ではないか、4人に一人が生活保護世帯と言う現状もある、町が何十億も出して整備しても元が取れるか。

障害者を入れても住民税も払わない非課税の世帯だ、そうすると町に入る収入は交付税しかない。

苦情だが、豪雨災害は完了したといったが、回復していない、今住んでいる人が幸せになれないのに、なんで一億もかけてやる必要があるのか。

町長：雫石町そのものも、かなり人口減少自体は厳しい、年間200人くらい減っていく現状です。生まれてくる子供が100人を切っている現実、それを120人くらいにしたいと思います。

何としても人口を減らしていかないようにしたい、高齢化は止められない、健康な高齢化を進めたいと思っています。

観光業でも、鶯宿温泉の宿泊も減ってきている、全体的には踏みとどまっていることも事実です。雫石町に観光、農業、林業の分野別の政策を組み立てていって、極端な下

降線にならないようにしてっていくのが現状です。

事業よりも町民の福祉が先じゃないかとの声もある、国が進めている一極集中をどうにかして止めなければならないのが、いまの雫石町であり全国の町々です。

町民：将来的には行政サービスもできなくなるのではないのか、除雪も出来ない状態になるのではないか。人口を1万5千位で計算しないと大変だと思う。

町長：疲弊していく現象を止めなくてはならない、政策を打ち立てて行かなきゃならない。

町民：日本政府も失敗している、今1千兆円以上の赤字国債を発行している。現状を見ると、もっと減ることで計画を立てる方が、現実味があると思います。

町長：国も財政的には厳しい状況です。消費税も上げる、下げるの、判断で迷っている。上げなきゃ社会福祉の財政が持たない状況もある。その為には経済を上げるしかない。それでも、地方までは来ていない。

町民：大学の先生に言わせると、経済は同じ状態で上がっていないと言っている。

町長：そこまで行くと政界の経済という事になるが、今の町財政は安定しています。

町民：地域のグレーチング一枚の交換も誰に頼んでもやってもらえない、3年前からやってもらえない、町議に頼んでもだめ。だから今回来た。何もしてもらえないのは残念です。

町民：PTAだから来たのですが、若者がメインで取り組まなければならないと思うが、20・30・40各年代から代表を選んで雫石町のまちづくりを考える会を開いても良いのかもと思った。

子どもを産まなければ増えない、先日青森県の七戸町の人と話した、給食費がタダ、保育代がタダ、と言っていた、雫石町もそう分かりやすいビジョンが必要かと思う。

あと、飲み屋さんが閉まった、ああいう飲み屋さんを復活してほしい。

町長：地域計画の時、人数も30人位、いろいろな人に入ってもらっている、今までより若い人に参加してもらっています。若い世代に限っていろいろな意見が必要とのこと提案として受けたいと思います。

給食費は無料に越したことはないが、財政の問題もある、雫石町では中学までの医療費無料というのは先進的と思っていますが、今は高校生まで無料にしたいと考えていま

す。

町中の居酒屋の件、町中の活性化の取り組みは、観光商工課で空き店舗対策等についての検討をしています。借りる人への補助等も考えています。

町民：勉強になりました。総合計画などは素晴らしいと思う。

都会の方から人を呼んでということだが、一つの方法論だと思うが、うちの息子も孫も帰ってきていない、生活できないからです。生活できるようにはどうしたらいいか、親父と息子と孫とで年間1千万位収入があれば生活出来るのではないかと、ということで、そのような方法はないのか。三世代暮らせるような方法はないでしょうか。

地域を見ても三世代の家庭は活気がある、高齢者の世帯はそうじゃない、外から呼ぶよりも、呼び戻す方が町全体として盛り上がるんじゃないか。

あとは、農業の大型化も必要だと思います。しかし、石垣もお大きい石だけでは崩れる、楔石も必要、小さい農家もどうにかならないか、町の支援でもいいので何かないか、提案です。

町長：人口が減っていく実態は厳しく受け止めています、「これだ」という方策はない、国の言う移住もそう簡単ではない、ですが去年から移住体験を行っています。

今11人の方が、零石に来たいという人がいます。4人家族が2組あと40代70代、そういう傾向は繰り返すことによって、町の空き家とかに住んでもらえると思っている。空き家についても、地域整備課で調査済みです。あとは貸してくれるかどうかです。

町民：それもいいが、身内が戻ってくる方策と同時に、地域住民が盛り上がる方策として三世代が盛り上がるようにしてほしい。

総務課長：Uターンについても検討はしている。要望という事で伺います。農家への補助についても要望として伺います。

町民：健康に関する事で大事なのは食生活である、今がん患者が非常に増えている、3人に一人はがんになり、死亡率も2人に一人はがんで死んでいる、なぜ増えたか、食べ物だ。国では安全安心と言って、残留農薬等の基準はあるが、まとめて摂ったときの影響について教えろといったが無かった。

医科大学で、健康な男子62人の精子を調べたら、正常なのは2人だけだった。それでは子どもはできない、若夫婦で子供が出来ない不妊夫婦の父の精子で受精したら子供が出来た。若者の精子がダメなのは食べ物のせいです。化学肥料、農薬、シャンプー、歯磨きなども影響する。不妊症の補助もいいが、食べ物についてももっともっと考えてほしい。もし今度やる事業の中で、農園を考えているのであれば、農薬を使わない化学肥

料もあまり使わない有機栽培の野菜などを考えてほしい。人間が次のレッドデータブック（絶滅危惧）に載ると思う。

町長：ドキッとするような話です。

町としてもそういう意識で共有できるようにしたい、本町でも、いろいろな検診を受けてもらうようにしているが、わが町は受診率が低いです。健康寿命を延ばすということです。雫石町の健康寿命、男性が64.2才、女性が65.8才、平均寿命78.3才、女性が85.3才なので、その間の男性14年、女性20年の間に体調を崩すなど、医療の世話になっている。それを縮めるため、食や運動、生活環境も大事だと思います。

一人でいる、話し相手が居ないなど、地域づくり計画や行政区、民生委員の活動などで、かなり網羅されてきている。

町民：私も体調不良で医者に行ったら11種類の薬、それで3回倒れた。それで薬を全部やめました。その後の検診では、それでも体調はいいといわれている。

町民：現場として動くのは当然役場職員なので、その人達にはスマホやタブレットとかを完璧に使えるように教育してほしい。

今の人にはメモを取らない、それで報告書なんかも作らない、スマホを使えない奴は現場に出すなということです。

総務課長：要望とし承ります。

町民：絶対条件としてお願いします。

町民：会場にテーブルが欲しい、資料を広げられない。

総務課長：次回から検討します。

町民：初めて参加しました。初めて聞いて素晴らしい案だと思って聞いているが、険しい道だと思います。私は町外から来たが、実際住んでみると魅力ある町だと思って過ごしています。医療費無料も高校まで伸ばしてもらえればありがたいと思います。

天瀬行政区では、あまり少子化とは感じていないが、あと数年では人数も減ってくるのは事実だと思う、主人の同級生の半分くらいは結婚していない、深刻だと思ってきていました。安心して結婚、出産子育てというものがあるが、未婚の方への働きかけも何かやっているのですか、町コンとか。

企画財政課長：めぐりあい事業として、町内では昨年まで、農業委員会や社会福祉協議会でやってきて、何組かのカップルが出来たと聞いています。

今年度からは出会い事業に新たに岩手県がサポートセンターを立ち上げました。加入負担金とかも係るが、その助成とかも進めています。

町民：それも周知されないと・・・

企画財政課長：広報に載せたかもしれませんが、若い人は広報を読まないで、フェイスブックやツイッターとを使って若い人たちが情報入手しやすいように、働きかけるようにしています。

町長：県のセンターにも雫石町からの登録者もいるようですし、当初の予定より多い登録者数のようです。

町民：長山街道みたいな沿道に賑わいを持たせて地域の活性化へ繋げるということでしたが、取り組みはどうなっていますか。

町長：今年の春、雫石町三街道としてCMを作って流しています。長山街道、橋場（秋田）街道、御所街道、街道ごとに史跡などを紹介する、取り組みは進めています。

地元の人が知らないのはダメなので、もう少しPRをしていきたいと思えます。

町民：地域づくり計画にも取り入れては

町長：そうですね。

町民：子供たちが御明神小学校に通っているが、歩道が少ないので危険だと感じています。

御明神には駅が二つあるが、電車が雫石駅止まりで不便なので、赤淵駅までの電車を増やしてほしいです。

地域整備課長：歩道については、以前から要望はあるが、すべてを整備することは難しいが、危険箇所ということで部分的であるが直していくことをしています。現場を確認しながら、検討していきたいと思っています。

町民：御明神地区の歩道について、道路は大型トラックが増えているので、危険です。

町民課長：赤淵駅まで電車の件について、JRには年1回要望はしているが、そのとおり

行かないという状態です。時間についてももう少し遅くと要望はしているが、なかなかすすんでいない状況です。赤渕までの延伸などは、引き続き要望はしていきます。